

IgA 腎症はもっとも多い原発性糸球体腎炎である。本疾患は若年者に発症しやすく、また病巣感染との関連が以前より指摘されており、日常臨床では病巣感染を見つけて、可能な限り除去する努力を行っている。IgA 腎症については、これまで病巣感染、血尿の機序、また糖鎖をはじめ種々のマーカーなどの観点から検討している。またネフローゼ症候群においても、同様に病巣感染との関連が疑われるものがある。これまでに、微小変化型ネフローゼ症候群において、病巣感染巣の外科的治療によりステロイドを使用することなく完全寛解導入に成功した世界初の症例を報告している。

腎機能が低下した患者さんでは、血管石灰化が起こりやすく、心血管イベントを起こしやすい。つまり、血管石灰化は生命予後という観点からも重要である。そこで、血管石灰化に影響を及ぼす因子を検討するとともに、カルシウムの生体内での存在様式に関する検討も行っている。

敗血症性急性腎障害領域においては、サイトカイン等を除去するのみならず、吸着する性能をもつ膜を用いた血液浄化も行っており、種々のサイトカイン動態を検討してきた。

【2016 年度 研究発表業績】

A-0

Yamato M, Minematsu Y, Ikemiya Y, Shibata J, Fujii J, Minato T, Miyagawa S, Takaori K, Tomiyama Y, Nagayama I, Wada A, Ito T, Iwatani H : Continuous Hemodiafiltration with an AN69ST Hemofilter (AN69ST-CHDF) as FGF-23-Lowering Therapy. Clin Lab. 62(12):2349-2354, 2016 年 12 月 27 日

Fujimoto M, Hashimoto R, Yamamori H, Yasuda Y, Ohi K, Iwatani H, Isaka Y, Takeda M : Clozapine improved the syndrome of inappropriate antidiuretic hormone secretion (SIADH) in a patient with treatment-resistant schizophrenia. Psychiatry Clin Neurosci. 2016 Oct;70(10):469. 2016 年 9 月 20 日

Nagasawa Y, Okuzaki D, Muso E, Yamamoto R, Shinzawa M, Iwasaki Y, Iwatani H, Nakanishi T, Isaka Y, Nojima H : IFI27 Is a Useful Genetic Marker for Diagnosis of Immunoglobulin A Nephropathy and Membranous Nephropathy Using Peripheral Blood. PLoS One. 2016 Apr 21;11(4):e0153252. 2016 年 4 月 21 日

B-2

Takaori K, Iwatani H, Asahina Y, Koizumi S, Tomiyama Y, Nagayama I, Ito T, Yamato M : Clinical Significance of Vascular Calcification Volume Assessed by 3D Imaging Software. ASN Kidney Week 2016 Annual Meeting, Chicago, USA, Nov 18, 2016

Nagasawa Y, Yamamoto R, Muso E, Shinzawa M, Yamamoto K, Kimura T, Iwatani H, Kuragano T, Isaka Y, Nakanishi T : IFI27/ ISG12A in Peripheral White Blood Cells Is a Useful Marker for IgA Nephropathy. ASN Kidney Week 2016 Annual Meeting, Chicago, USA, Nov 18, 2016

Sakai K, Iguchi N, Iwatani H, Uchiyama A, Fujino Y : RELATIONSHIP BETWEEN SEVERE HYPERCALCEMIA AND MORTALITY IN POST-LIVER TRANSPLANT PATIENTS: A RETROSPECTIVE CASE-CONTROL STUDY. 41th ANZICS/ACCCN Intensive Care Annual Scientific Meeting 2016, Perth, Australia, Oct 20-22, 2016、Best Medical Poster 受賞

B-3

倭 成史 : シンポジウム 6 救急領域におけるアフエレス治療 : AN69ST-CHDF による敗血症性ショックの治療戦略。第 37 回日本アフエレス学会学術大会、横浜、2016 年 11 月 27 日

倭 成史 : Pro and Con 4 : 敗血症性ショックにおける AN69ST-CHDF の PMX-DHP に対する優位性。第 27 回急性血液浄化学会、東京、2016 年 10 月 28 日

峰松佑輔、倭 成史、池宮裕太、宮川幸恵、湊 拓己、藤井順也、柴田純一、岩谷博次、伊藤孝仁、榊 雅之 : FGF-23 lowering therapy としての AN69ST (sepXiris) - CRRT の可能性。第 26 回日本臨床工学会、京都、2016 年 5 月 15 日、BPA 最優秀演題

B-4

池宮裕太、峰松佑輔、倭 成史、岩谷博次、榊 雅之 : 高ミオグロビン血症に対する AN69ST 膜と PMMA 膜の比較検討。第 27 回急性血液浄化学会、東京、2016 年 10 月 29 日

倭 成史、峰松佑輔、池宮裕太、岩谷博次 : FGF-23 lowering therapy としての AN69ST-CHDF の可能性。第 27 回急性血液浄化学会、東京、2016 年 10 月 28 日

高折佳央梨、岩谷博次、富山陽子、長山郁恵、和田 晃、伊藤孝仁、倭 成史 : 3D 画像ソフトウェア (3D-IS) を用いた血管石灰化容積 (VCV) の臨床的意義に関する検討。第 59 回日本腎臓学会学術総会、横浜、2016 年 6 月 19 日

岩谷博次、倭 成史、猪阪善隆 : バイオインピーダンス法により推測した、除水方法の違いによる体組成変化の比較。第 59 回日本腎臓学会学術総会、横浜、2016 年 6 月 18 日

高折佳央梨、富山陽子、長山郁恵、倭 成史、和田 晃、岩谷博次 : 治療に難渋した緑膿菌による CAPD 腹膜炎の一例。第 61 回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、2016 年 6 月 12 日

富山陽子、倭 成史、高折佳央梨、長山郁恵、和田 晃、岩谷博次 : 急性肺炎による重症敗血症に対し、Nasal High Flow と、AN69ST 膜による持続的血液濾過透析 (CHDF) を併用し、著効を示した一例。第 61 回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、2016 年 6 月 12 日

岩谷博次、高折佳央梨、富山陽子、長山郁恵、濱 直樹、中森正二、和田 晃、倭 成史 : ズレドロン酸 (ZA) が高 K 血症を起こしたと考えられる透析の一例。第 61 回日本透析医学会学術集会・総会、大阪、2016 年 6 月 11 日

B-5

岩谷博次：ドライウエイトの決め方。第 88 回大阪透析研究会 教育委員会企画セミナー、大阪、2017 年 3 月 5 日

倭 成史：各種血液浄化療法のしくみと特性。第 88 回大阪透析研究会 教育委員会企画セミナー、大阪、2017 年 3 月 5 日

倭 成史、峰松佑輔、岩谷博次：敗血症新定義をふまえた有効性の評価。第 21 回エンドトキシン血症救命治療研究会 特別演題、東京、2017 年 2 月 11 日

B-6

東 優希、高折佳央梨、朝比奈悠太、小泉信太郎、富山陽子、倭 成史、岩谷博次：後腹膜線維症、炎症性腹部大動脈瘤合併の慢性腎不全経過中にコレステロール塞栓症による慢性腎不全急性増悪を来した 1 例。第 215 回日本内科学会近畿地方会、神戸、2017 年 3 月 25 日

朝比奈 悠太、小泉信太郎、高折佳央梨、富山陽子、倭 成史、岩谷博次：ネフローゼ症候群の経過途中に呼吸苦を呈した 1 例。OCKD 例会、大阪、2017 年 2 月 17 日

大西佐季、倭 成史、朝比奈悠太、小泉信太郎、高折佳央梨、富山陽子、岩谷博次：排便コントロール不良により体液管理が困難であった維持透析患者の一例。第 87 回大阪透析研究会、大阪、2016 年 9 月 4 日

益田知可子、高折佳央梨、朝比奈悠太、小泉信太郎、富山陽子、長山郁恵、倭 成史、岩谷博次：排液培養から Streptococcus salivarius を検出した CAPD 腹膜炎の 1 例。第 87 回大阪透析研究会、大阪、2016 年 9 月 4 日

B-8

岩谷博次：HIV・エイズ患者での透析治療の現状。HIV 等血液感染予防に関する研修会、京都、2017 年 3 月 4 日

岩谷博次：糖尿病と CKD について。法円坂 Joint Seminar、大阪、2017 年 2 月 23 日

岩谷博次：HIV 感染症と腎障害。平成 28 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2016 年 10 月 18 日

岩谷博次：CKD の原因となる AKI について。CKD 病診連携セミナー、大阪、2016 年 10 月 6 日

岩谷博次：トルバプタン 多発性嚢胞腎治療の新展開。城南腎臓病連携セミナー～もうひとつの CKD～、大阪、2016 年 7 月 28 日

岩谷博次：腎臓病における食事療法～低蛋白食、減塩はどのような病態に行うのか～。第 46 回栄養学連続講義（若さの栄養学協会）、大阪、2016 年 7 月 15 日

岩谷博次：利尿薬の特性と CKD での体液管理について。CKD における体液管理を考える会、奈良、2016年6月30日

岩谷博次：Diabetic Kidney Disease の病態・治療。DKD-STOP Network ～糖尿病性腎症を考える～、大阪、2016年6月23日

岩谷博次：腎疾患と栄養管理。平成28年度日本病態栄養学会認定 NST 研修～Nutrition week～大阪（大阪医療センター）、2016年6月22日

岩谷博次：啓発活動の現状と今後。PKD 座談会、大阪、2016年5月16日

倭 成史：HMGB1 制御としての Polymyxin-B direct hemoperfusion (PMX-DHP) とリコンビナントトロンボモジュリン (rTM)。リコモジュリン Web 講演会～基礎疾患に合併する DIC の撲滅を目指して～ (Web 講演会)、2016年9月12日

倭 成史：急性血液浄化領域におけるリコンビナントトロンボモジュリン製剤の意義を探る。夏休み・実践敗血症治療塾～次世代を担う若手医師にも、わかりやすい～教育講演Ⅱ、熊本、2016年8月25日

倭 成史：FGF-23 lowering therapy としての AN69ST CHDF の可能性。第26回中ノ島カンファレンス、大阪、2016年7月16日

倭 成史：FGF-23 lowering therapy としての AN69ST CHDF の可能性～acute illness における FGF23 の意義を探る～。関東 sepXiris セミナー 基調講演、東京、2016年5月21日